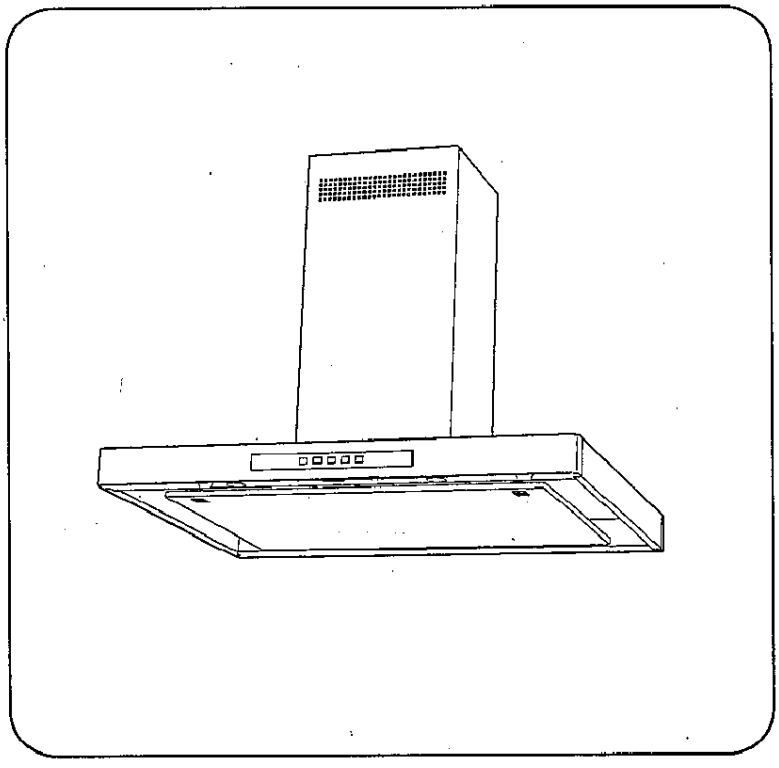
保管用

National



取扱説明書
センターフード

シロッコファンタイプ
(リモコン付き)

～うきうきフィルター付き～

品番
S95AHWZ37(高さ700)
S95AHWZ38(高さ800)
S95AHWZ39(高さ900)

※品番の頭には「VJ」などのキッチンシリーズを示す英字2文字が入ります。

保証書付
施工説明書別添付

換気連動システム対応型
このセンターフードは、弊社換気連動システムに対応した調理機器との組み合わせにより、換気連動システムとしても使用することができます。適応する調理機器は販売店にご確認ください。

このたびは「センターフード」をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」(2～3ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。
保証書(23ページ)は、「お引き渡し日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

安全上のご注意 ……2～3
お願い ……4～5
ご使用前に ……5
各部のなまえ ……6
スイッチの使いかた ……7～8
換気連動システムとしてご使用の場合 ……8～9
お手入れのしかた……10～18
故障かな？ ……19
保証とアフターサービス……20～22
保証書 ……23
仕様……裏表紙

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたとき生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は、絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

■絶対に分解したり修理・改造しない

分解禁止

火災・感電・けがの原因となります。

●修理はお買い上げの販売店・工務店または「保証とアフターサービス」に記載の修理ご相談センターへご相談ください。

■ガス漏れのときはセンターフード本体やリモコンのスイッチを入れたり、切ったりしない

禁止

スイッチ火花によりガス爆発するおそれがあります。

■水につけたり、水や洗剤をかけたりしない（モーター、スイッチなどの電気部品）

水ぬれ禁止

ショートや感電のおそれがあります。

■分電盤のブレーカーをぬれ手で切／入しない

ぬれ手禁止

感電のおそれがあります。

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

禁止

定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

9DCT14202 MDA-M1105-0

⚠警告

■長期間ご使用にならない場合は、分電盤のブレーカーを切る

必ず守る

絶縁・劣化などによる感電や漏電・火災の原因となります。

■お手入れの際は、分電盤のブレーカーを切る

必ず守る

感電やけがをすることがあります。

⚠注意

■本体は、しっかり取り付いているか、確認する

必ず守る

落下により、けがをするおそれがあります。

■運転中は羽根の中に指や物を入れない

接触禁止

けがのおそれがあります。

■部品は確実に取り付ける

必ず守る

落下により、けがをするおそれがあります。

■電池をリモコンに入れる場合、電池の向きを正しく入れる

必ず守る

向きを間違えると乾電池の破裂・液漏れにより、故障ややけどの原因となります。

■お手入れの際は、ゴム手袋を使用する

必ず守る

板金部品などの切り口や本体の突起、角などでけがをすることがあります。

■羽根をはずした状態でモーターを回転させない

禁止

回転数が上がり、モーターが焼きつくことがあります。

■リモコンを調理機器などの上や近くに置かない

禁止

変形したり、着火して火災のおそれがあります。

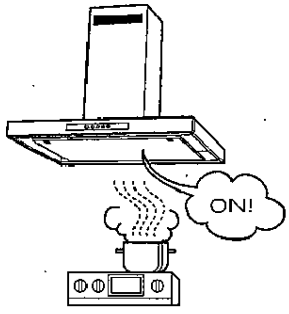
■照明を直接見ない

禁止

目がくらんだり、傷めたりするおそれがあります。

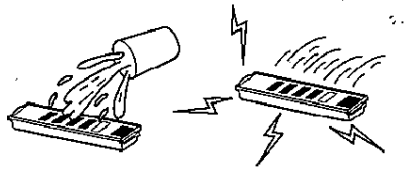
お願い

■ガス調理機器、電気調理機器使用時は、必ず運転をしてください。



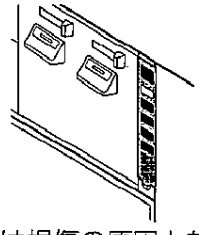
フード内の異常高温による故障の原因となります。

■リモコンは落として強い衝撃を与えたり、水をかけたりしないでください。



故障して動かなくなります。

■リモコンは電池交換やお手入れ時以外は、必ずホルダーに固定してご使用ください。



頻繁な脱着は損傷の原因となります。

■エアコンなどの風が直接あたらないようにしてください。

一般のフードに比べオープンな場所に設置されるため、周囲の風や人の動きなどによって十分煙を捕集しきれないことがあります。電気調理機器は上昇気流がガス調理機器に比べて少ないため、影響を受けやすくなっています。

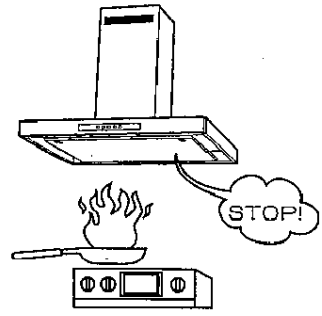
■リモコンは屋外に放置しないでください。

故障の原因となります。

■フィルターに市販のフィルターを重ねて使用しないでください。

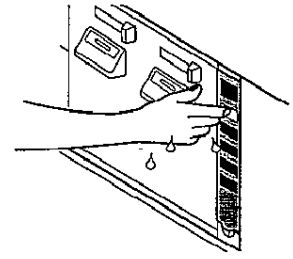
吸い込みが悪くなります。

■油に火がついたときは運転を停止してください。



センターフードが動作していると火の勢いがよけいに強くなります。

■リモコンはぬれた手で操作しないでください。



故障して動作しなくなります。

■直射日光の当たるなど、極端に明るく照らされる場所には設置しないでください。

リモコン信号や調理機器側の信号を受信せず、動作しない場合があります。

■テレビ・エアコンなどのワイヤレス発信器を操作しているときは、リモコンスイッチを操作しても動作しない場合がありますが、故障ではありません。

■センターフードにもたれかかったり、ぶら下がったりしないでください。

センターフードの破損や変形の原因となります。

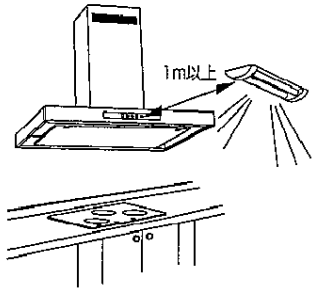
■以下の場合ではスイッチが操作できないことがあります。

・指サック、傷テープ、ゴム手袋などでの操作
・スイッチ表面が濡れている
・スイッチ表面が汚れている

■性能を維持するために専用のフィルターをご使用ください。

9DCT14202 MDA-M1105-0

■受信部と照明器具を近づけすぎないでください。
照明器具が受信部から1m以内に設置された場合、換気連動システムが正常に動作しないことがあります。

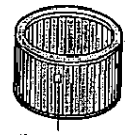


■電気調理機器（電気コンロ）使用時、フードが暖まりにくいため結露（水滴）が生じることがあります。
その場合は、申し訳ありませんが、滴下する前にふき取ってご使用ください。

■センターフード運転時は、十分な給気を確保してください。
給気が不足すると、不完全燃焼・吸い込みが悪くなる・異臭がする・扉が開きにくくなる・すきま風の音が大きくなるなどの現象が発生します。

■電気調理機器（電気コンロ）使用時、結露水がオイルキャッチにたまる場合があります。
こまめに水をすててください。

■羽根の回転バランスをとるためにバランサー（重り）が付いている場合がありますが、絶対にはずさないようにしてください。
異常や故障の原因となります。


バランサー

ご使用前に

この商品は下記のような仕様になっております。

タッチパネルスイッチ

●指で触れるだけで操作できるタッチパネルスイッチを採用しており、操作性が良く表面がフラットなためお手入れが簡単です。

LED照明

●LEDを採用しており、省電力で長寿命であり表面がフラットなためお手入れが簡単です。

副吸込口

●フロントカバー上部に副吸込口を設けてあり、フード本体下面で直接捕集しきれなかった煙を吸い込みます。
（エアコンなどの風の影響によっては、十分捕集しきれない場合があります）

はっ水塗装

P.5 各部のなまえ 、P.11 はっ水塗装について 参照

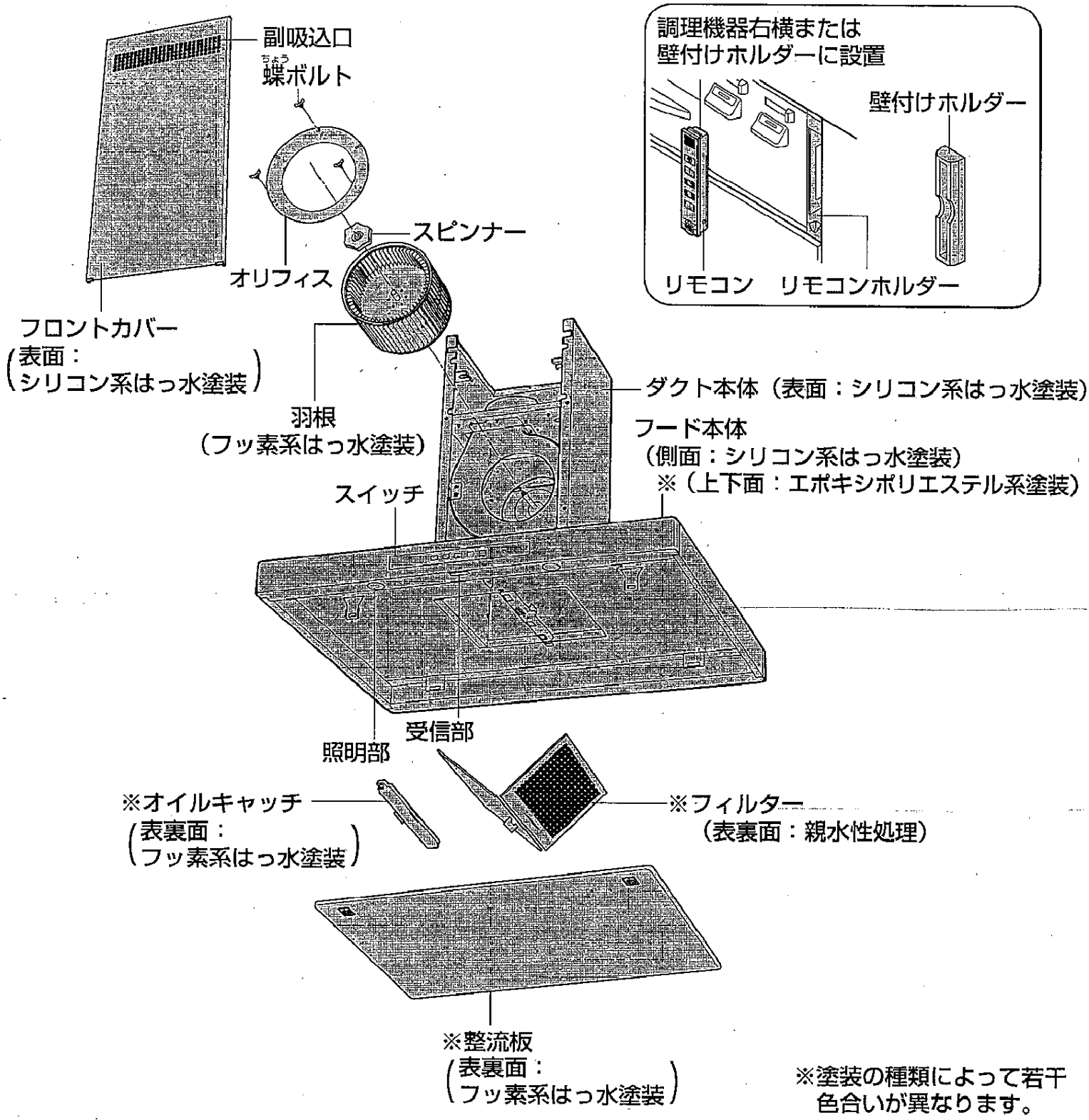
●オイルキャッチ、整流板、フード本体側面、ダクト本体側面、羽根にははっ水塗料が塗布されており、油汚れが取りやすくなっています。

うきうきフィルター

P.10 親水性処理について 、P.15 フィルターのお手入れは 参照

●フィルター表裏面に親水性処理をおこなっておりますので、油汚れが取りやすく、お手入れが簡単です。
（汚れたフィルターを水につけた後、スポンジなどで水洗いすると汚れが簡単に落ちます）

各部のなまえ



※塗装の種類によって若干色合いが異なります。

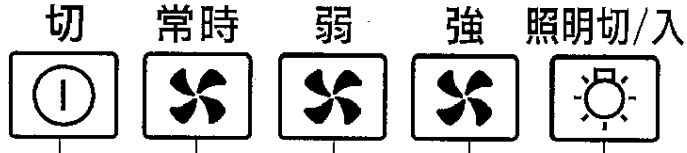
■スイッチ

9DCT14202 MDA-M1105-0

スイッチの使いかた

操作されるときは、スイッチの枠内を1つづつ触れてください。
複数の枠に触れた場合、操作を受け付けないことがあります。

本体操作スイッチ



切ボタン

残置運転
一度触れると調理後の熱気やニオイを排出するため、常時モードで約3分間運転した後停止します。
（この間 常時 の風量ボタンが点滅します。）

すぐに停止するとき。
二度触れます。

スイッチをロックするとき。
（リモコンスイッチではロックおよびロック解除はできません。）
3秒以上触れ続けると、「ピピ」と音がしてスイッチがロックされ、切 が点滅します。
（ロック状態で風量ボタンや照明ボタンに触れると「ピーピーピーピー」という音がして、ロック状態をお知らせします。）
もう一度3秒以上触れ続けると「ピー」と音がして、ロックが解除されます。
※ファン停止時のみロック設定が可能です。
※スイッチロック状態のときは、本体操作スイッチおよびリモコンスイッチを操作しても、センターフードは動きません。

風量ボタン

常時換気するとき。
（住宅全体の換気をする）
常時
調理やお手入れのときを除き、24時間連続換気してください。
※「常時換気モードについて」を参照してください。

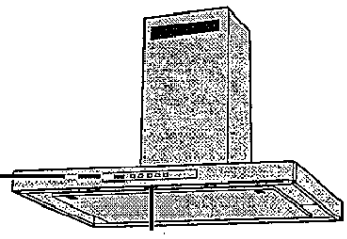
弱
油煙の少ないとき。

早く換気したいとき。
油煙が多いとき。
強
停止状態から弱または強ボタンに触れると、約5秒後にファンが回り出します。
給気シャッター連動時に室内外差圧を少なくするための動作で故障ではありません。
（センターフード運転中は、風量にあわせて風量ボタンが光ります。）

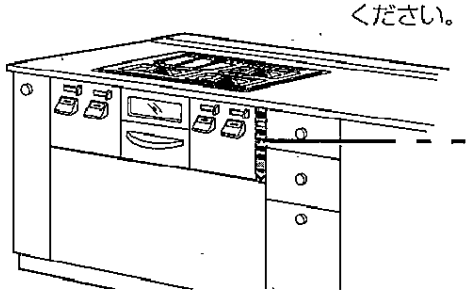
照明ボタン

手元が暗いとき。
一度触れると照明が点灯し、
もう一度触れると照明が消えます。
（照明の点灯中は、照明ボタンが光ります。）

リモコンスイッチ



受信部
赤外線信号を受信する所です。
※週に1回程度は油汚れをふき取ってください。



リモコン発信部
リモコンの信号を発信する所です。
※月に1回程度は油汚れをふき取ってください。

※リモコンのはずしかた、入れかた、電池の入れかたは18ページを参照してください。

常時換気モードについて

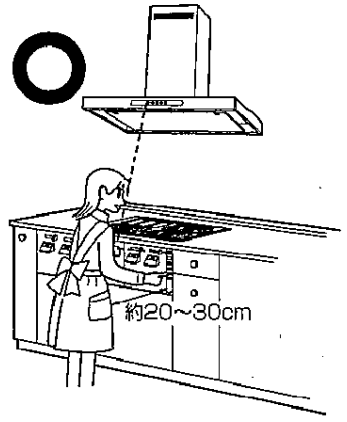
本センターフードは建築基準法による住宅の常時換気をおこなう設備として使用できます。

■常時換気設備として使用する場合（スイッチ近傍に「24時間連続換気してください」のお願いラベルが貼ってあります。）
・調理時やお手入れ時以外は、常に「常時」運転で連続換気をおこなってください。

■常時換気設備として使用しない場合
・調理時以外に連続換気する必要はありません。
・「常時」モードは微弱モードとして「弱」よりも少ない風量で換気したいときにご使用になれます。

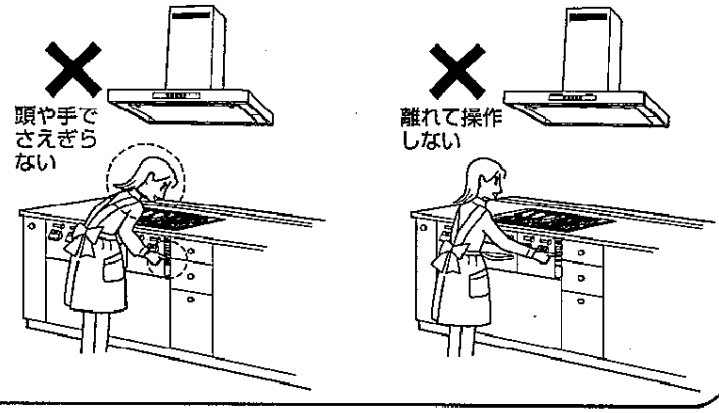
リモコンスイッチ（反射式）について

■リモコンの操作はカウンターから約20～30cm離れ、リモコンの正面に立って押してください。
※リモコンの信号は人や壁に反射して、フード本体のリモコン受信部に届きます。信号をさえぎらないように操作してください。

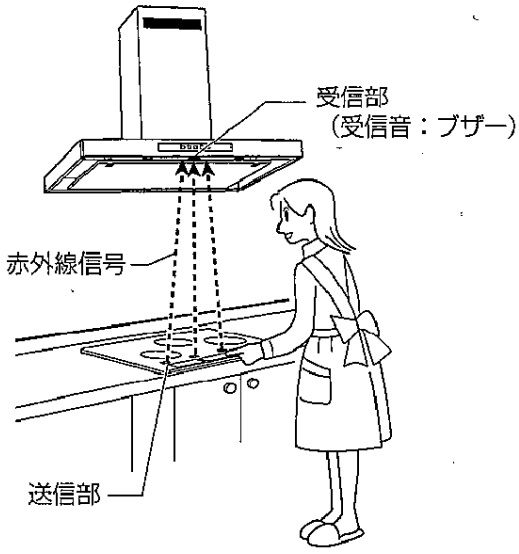


お 願 い

下記のような場合は、スイッチが作動しない場合がありますが故障ではありません。
●レンジの近くに立ち過ぎている。
●前かがみで操作し、手や頭で信号がさえぎられている。
●黒い服を着て操作している。
●テレビ・エアコンなどのリモコンを操作している。



換気連動システムとしてご使用の場合

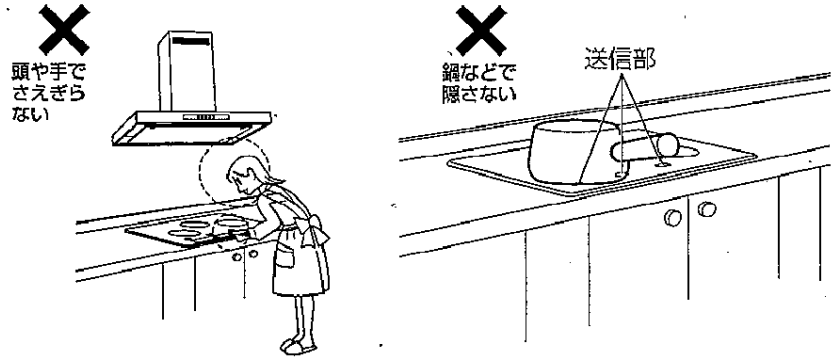


換気連動システムとは

調理機器の送信部から発せられた赤外線信号をセンターフード本体で受信することで、センターフードの運転/停止、また照明の消灯/点灯をおこないます。

お 願 い

■換気連動システムとしてご使用になる場合は、弊社換気連動システムに対応した調理機器との組み合わせが必要です。
■調理機器の取扱説明書もよく読んでご使用ください。
■センターフードの真下に頭を近付けないでください。
換気連動システムが正常に動作しないことがあります。
■鍋などにより、送信部を隠さないでください。
換気連動システムが正常に動作しないことがあります。
■換気連動システムが正しく動作しているか、風量ボタンおよび照明ボタンをご確認ください。



9DCT14202 MDA-M1105-0

使いかた

換気連動システムの基本操作

調理機器の操作		センターフードの動作		照明
いずれかのコンロ またはヒーター	入	風量「弱」で運転します。	弱 点灯	点灯 ※1
すべてのコンロ またはヒーター	切	「常時」で約3分間運転（残置運転）したあと停止します。※2	常時 点滅 その後消灯	消灯 ※3

※1　照明連動モードが解除されている場合は、照明は点灯しません。
※2　センターフードが常時換気モードに設定されている場合は、風量「常時」で24時間連続換気をおこないます。（センターフードは停止しません。）
※3　手動で照明点灯操作をおこなった場合、手動での照明操作が優先され、連動での照明消灯動作はおこなわれません。

換気連動システムの設定を変更する場合（センターフードで操作）

使いかたに合わせて、常時換気モードおよび照明連動モードが設定できます。

■常時換気モードの設定：初期状態では、常時換気モードは解除されています。

常時

設定　→「常時」ボタンを3秒以上触れ続けると、「ピピ」と音がして、常時換気モードに設定されます。
コンロまたはヒーターを切ると、風量「常時」で24時間連続換気をおこないます。

解除　→「常時」ボタンを3秒以上触れ続けると、「ピー」と音がして、常時換気モードが解除されます。
コンロまたはヒーターを切ると、風量「常時」で約3分間運転したあと停止します。

※設定および解除をしたあとは、風量「常時」でセンターフードが運転しています。センターフードを停止させる場合は、「切」ボタンを2回触れてください。

■照明連動モードの設定：初期状態では、コンロまたはヒーターの入・切と連動しています。

照明切/入

解　除　→「照明　切／入」ボタンを3秒以上触れ続けると、「ピー」と音がして、照明連動モードが解除されます。
センターフード本体スイッチまたは調理機器のスイッチで、照明を点灯/消灯してください。

再設定　→「照明　切／入」ボタンを3秒以上触れ続けると、「ピピ」と音がして、照明連動モードが再設定されます。

※解除および再設定をしたあとは、照明が点灯しています。照明を消灯する場合は、「照明　切／入」ボタンを触れてください。

停電や、お手入れ時にブレーカーを切ったあとなど、電源再投入時には設定が初期状態に戻ります。その場合、設定をやり直す必要があります。

お手入れのしかた（フィルター、オイルキャッチは交換部品としてお求めになれます）

⚠警告

■お手入れの際は、必ずリモコンおよび本体のスイッチを「切」にして、リモコンをお子様の手の届かない所に置く
次に、分電盤のブレーカーを切るか、またはスイッチをロックする

必ず守る　感電やけがのおそれがあります。

※スイッチのロック方法については、7ページをご覧ください。

■換気連動システムに対応した調理機器を操作しない

禁止　けがのおそれがあります。

⚠注意

■お手入れの際は、ゴム手袋を使用する

必ず守る　板金・樹脂部品などの切り口や本体の突起、角などでけがをすることがあります。

換気連動システムとしてご使用の場合、お手入れ後の電源投入時にはシステムの設定をご確認ください。（9ページ参照）

お願い

■あまり汚れないうちにお手入れしてください。期間が長くなると汚れが落ちにくくなったり、部品がはずれなくなったりする場合があります。
■お手入れの際は調理をやめ、鍋などはフードの下に置かないようにしてください。
■高い所での作業となりますので足場には十分気を付けてください。
■塗装の変質、変色、はがれ防止のため右のものは使わないでください。
■調理直後にはフードが熱くなっている場合がありますので、その場合は十分温度が下がってからお手入れしてください。
■お手入れの際、熱湯は使用しないでください。樹脂部品が変形する原因となります。
■ステンレス部分には指紋や油汚れなどがふきとり易い特殊塗装を施しています。
一般のステンレスとは異なり傷付き易いため、やわらかい布などで汚れをふき取ってください。

親水性処理（フィルター）について

■フィルター生地（アルミ）にセラミック系親水性塗料をコーティングしたものです。
油汚れが水洗いで落とせます。

お願い

●油汚れの取りやすい親水性処理の効果を生かすには、早期の掃除（1か月以内）が必要です。長期放置すると十分な効果を発揮しないおそれがあります。
●フィルターを変形させるとコーティングがはがれ、親水性処理の効果が得られないおそれがあります。

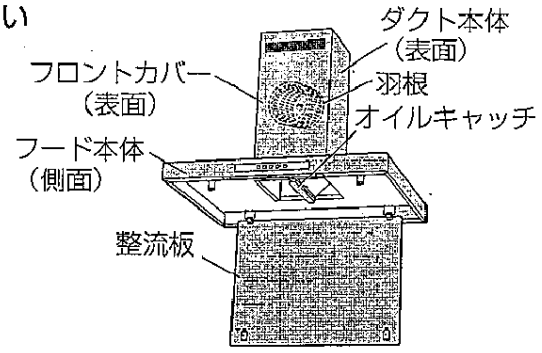
9DCT14202 MDA-M1105-0

はっ水塗装について

■この商品は右図の場所（アミかけ部）に油汚れのとり易いはっ水塗装を塗布しております。

お 願 い

●油汚れの取りやすいはっ水塗装の効果を生かすには、早期の掃除が必要です。
●長期放置すると十分な効果を発揮しません。



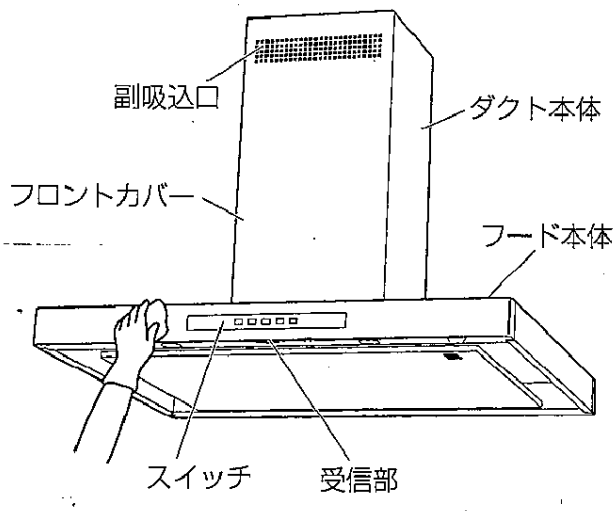
日常のお手入れは

●フード本体、ダクト本体、フロントカバー ：3か月に1回程度
●スイッチ、受信部：1週間に1回程度

ぬるま湯でうすめた台所用中性洗剤を浸した布で油汚れをふき取り、からぶきをしてください。

お 願 い

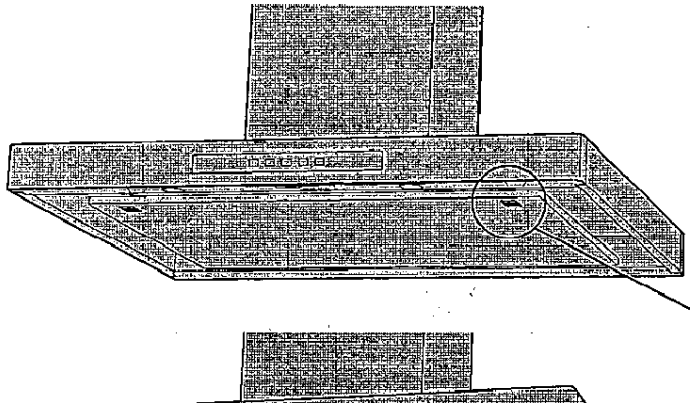
※汚れが目立つ場合は日常的にお手入れしてください。フード全体に付着した油が滴下したり、汚れがとれにくくなったり、部品がはずれなくなる場合があります。



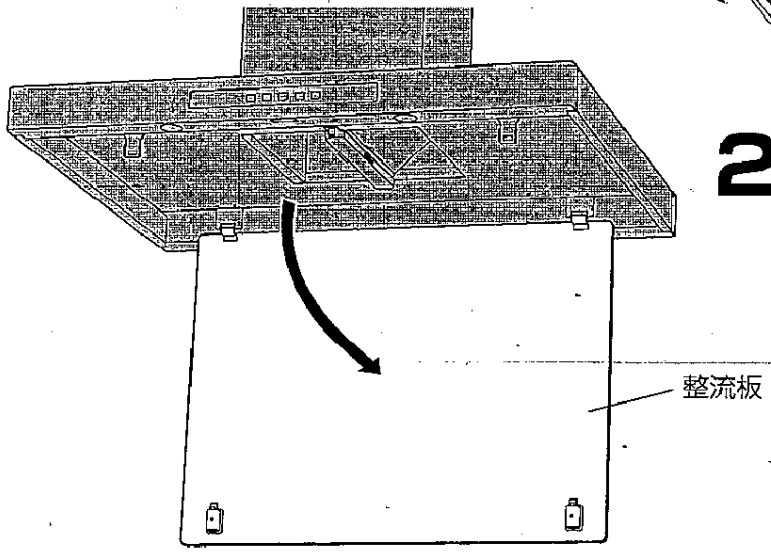
お手入れのしかた

整流板のお手入れは（月に1回程度）

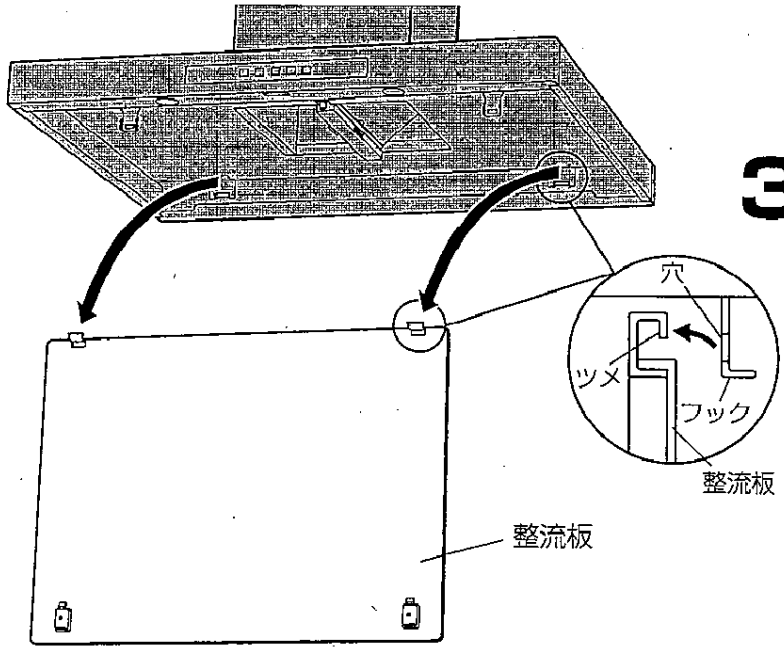
■整流板の取りはずし



1 整流板を左右から両手で支え、
左右のラッチのレバーを手前に引く。



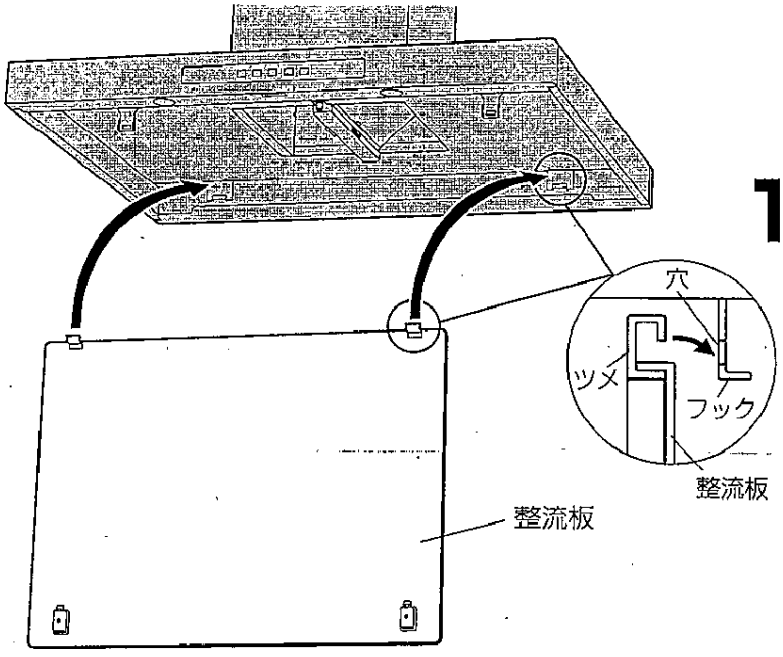
2 整流板をゆっくりとおろす。



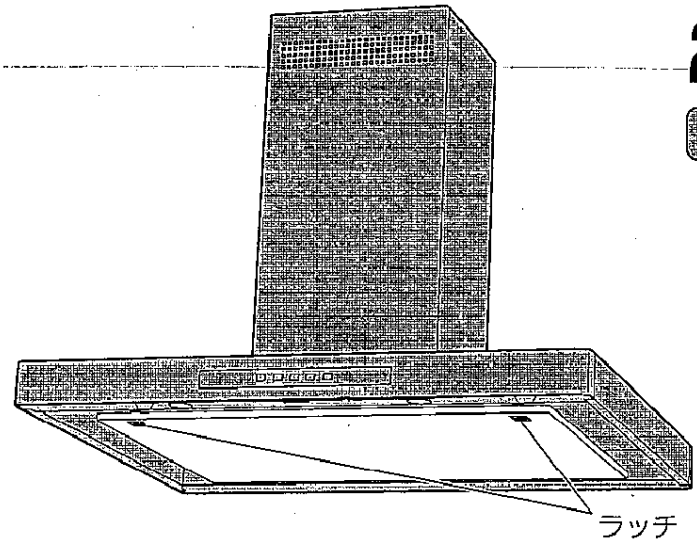
3 整流板のツメを本体のフック
の穴から取りはずす。

9DCT14202 MDA-M1105-0

■整流板の取り付け



1 整流板を両手で垂直に持って、
ツメを本体のフックの穴に掛ける。



2 整流板を両手でおこして、
フード本体に固定する。

お願い

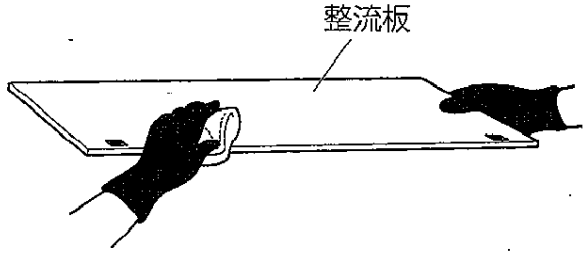
●両側のラッチがきちんとかかっているか
確認してください。
かかっていないと落下するおそれがあります。

■整流板のお手入れ

中性洗剤に浸したスポンジ、樹脂製タワシで
汚れを拭き取った後、洗剤が残らないように
乾いた布でよくふき取ってください。

お願い

はずした整流板は平らな場所でお手入れをし
てください。
変形・傷の原因となります。

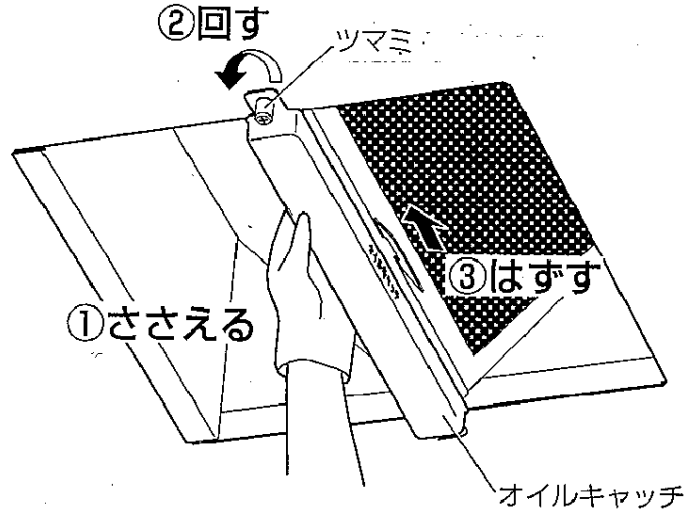


お手入れのしかた

オイルキャッチのお手入れは（月に1回程度）

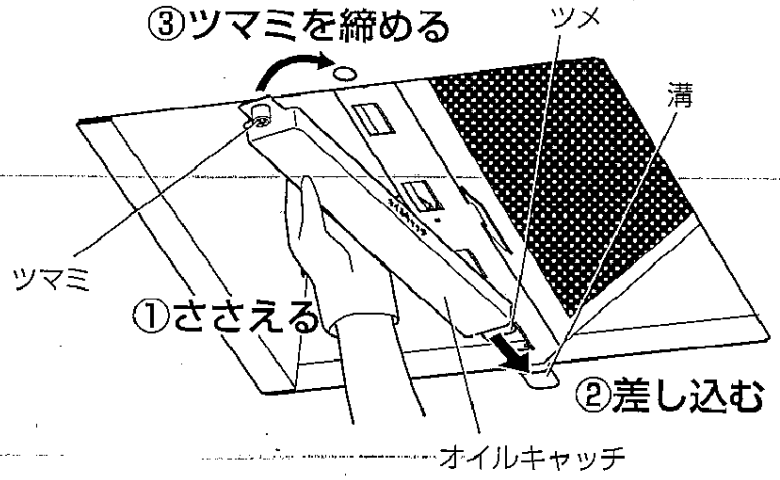
■オイルキャッチの取りはずし

①整流板をはずした後、
　オイルキャッチを手でささえながら、
②ツマミを回してはずし、
③手前に引いてはずす。



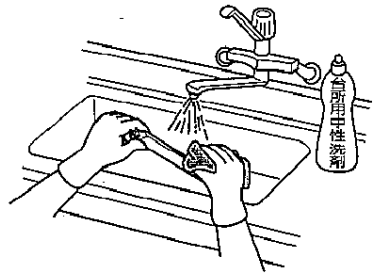
■オイルキャッチの取り付け

①オイルキャッチを手でささえながら、
②オイルキャッチのツメを
　フード本体の溝に差し込み、
③ツマミを締めて取り付ける。



■オイルキャッチのお手入れ

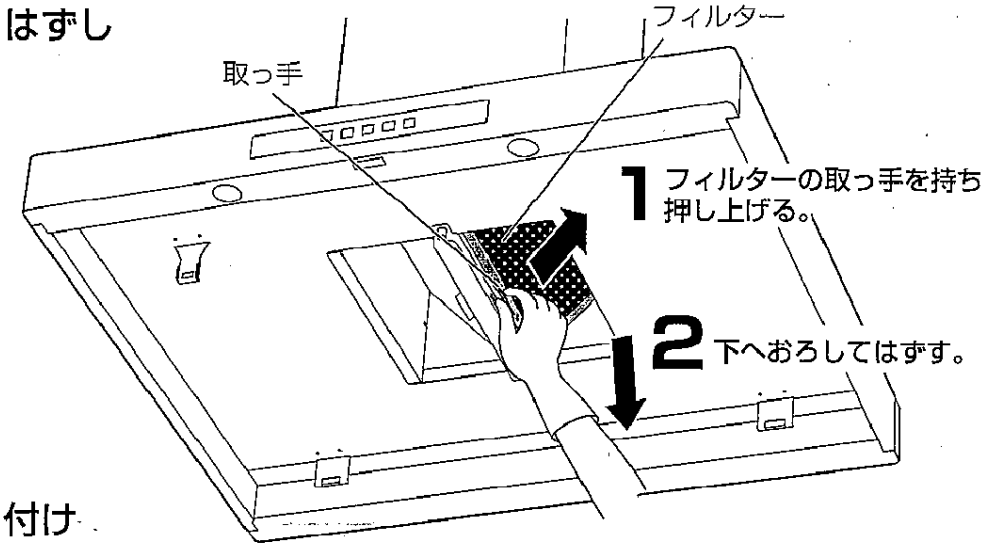
油がたまっている場合は、
　たまった油をキッチンペーパーなどで
　ふき取ってから、台所用中性洗剤で洗う。
　※使用状況により、油のたまる量は異なります。



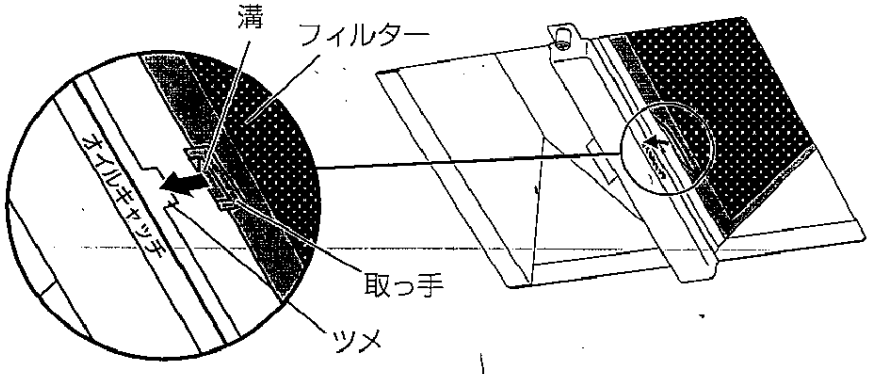
9DCT14202 MDA-M1105-0

フィルターのお手入れは（月に1回程度）

■フィルターの取りはずし



■フィルターの取り付け

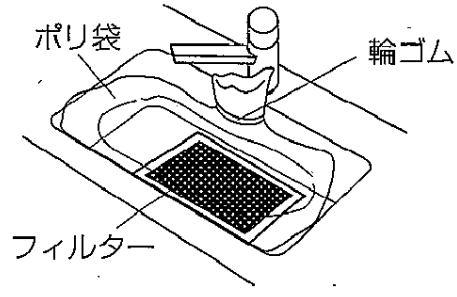


1 フィルターの取っ手を持ち、

2 取っ手の溝をツメに差し込む。

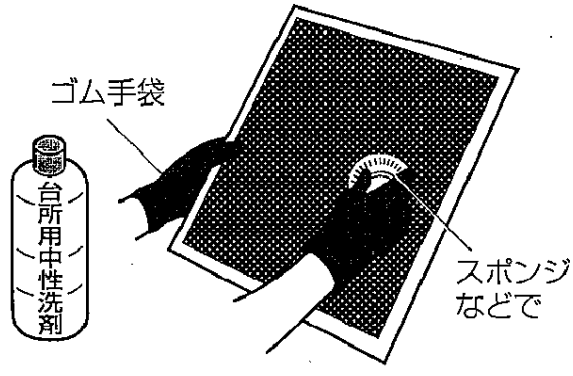
■フィルターのお手入れ

1. 厚手で大きめのポリ袋にフィルターを入れた後、水を入れます。袋の上部を輪ゴムで留め、水に浸しておきます。（目安時間約15分）
2. フィルターを取り出し、スポンジなどで水洗いし、汚れを落とします。



（汚れがとれにくいとき）

台所用中性洗剤を使って汚れを取り、水洗いしてください。



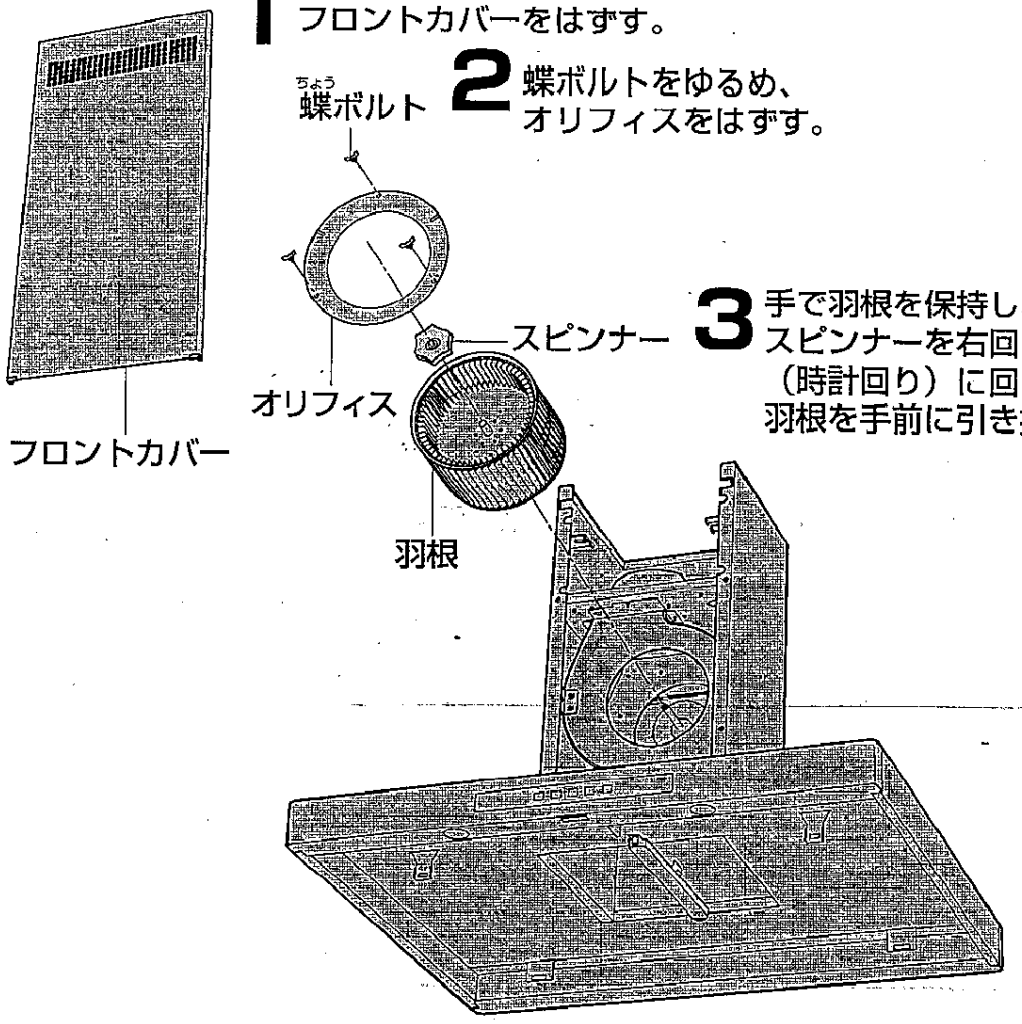
お願い

- ●排水口に市販の水切りごみ袋をつけてください。（排水口づまりの防止と環境保護の為）お手入れ後にポリ袋の水を流し、ポリ袋と水切りごみ袋を廃棄してください。
- ●フィルターのお手入れ後、水切りをし、乾燥させてから取り付けてください。
- ●金属製タワシなどは使わないでください。
- ●食器洗い乾燥機では洗わないでください。アルカリ性洗剤を使用しているため、塗装の変質、変色、はがれが生じることがあります。

お手入れのしかた

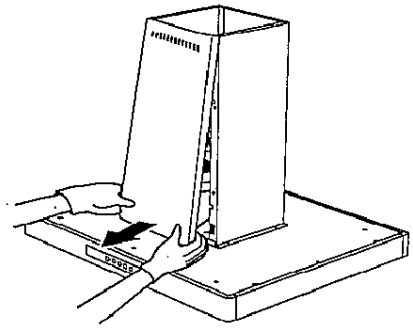
羽根・オリフィスのお手入れは（3か月に1回程度）

■羽根・オリフィスの取りはずし



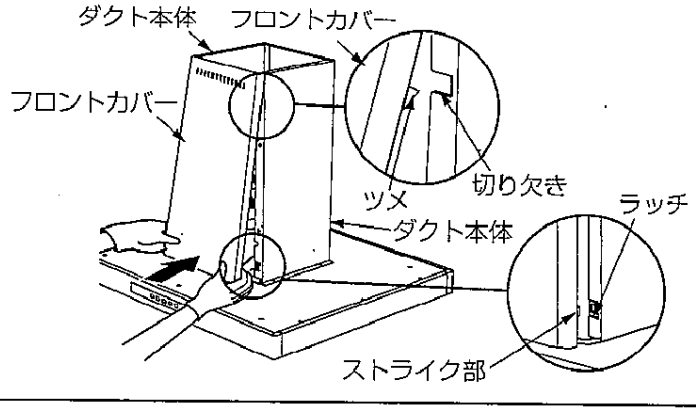
■フロントカバーの取りはずし

フロントカバーの下部を持ち、手前に引いてはずす。



■フロントカバーの取り付け

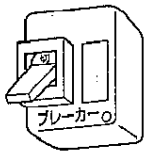
フロントカバーのツメをダクト本体の切り欠きに差し込み、上に持ち上げながらフロントカバーのストライク部をダクト本体のラッチに差し込む。



9DCT14202 MDA-M1105-0

⚠警告

■お手入れの際は、分電盤のブレーカーを切る



感電やけがをすることがあります。

⚠注意

■運転中は羽根の中に指や物を入れない

接触禁止

けがのおそれがあります。

■お手入れの際は、ゴム手袋を使用する

板金部品などの切り口や本体の突起、角などでけがをするおそれがあります。

■羽根・オリフィスのお手入れ

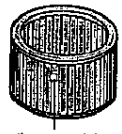
①ぬるま湯を入れた容器に羽根、オリフィスを浸し、樹脂製タワシなどで汚れを洗い落す。

（しつこい汚れには、台所用中性洗剤を使用してください。
金属タワシなどの硬いものは、表面を傷付けることがありますので、使用しないでください。）

②水分をふき取り、乾燥させる。

（羽根はシャフトに挿入する部分の水けを十分に取り、潤滑剤などをさしてから取り付けてください。
シャフトの錆止めになり、羽根の取りはずし性を維持します。）

お願い



バランサー

※羽根の回転バランスをとるために バランサー（重り）が付いている場合があります。絶対にはずさないでください。異常や故障の原因となります。

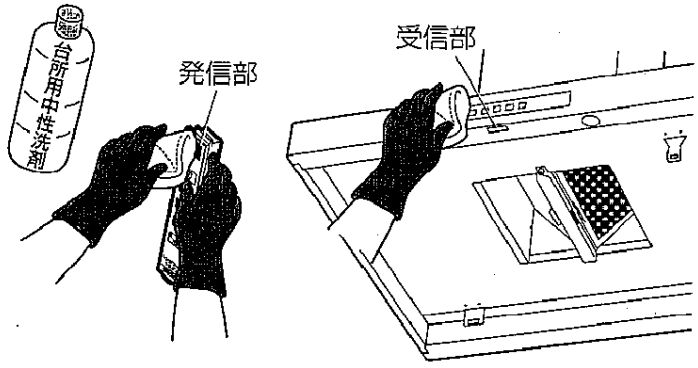
■お手入れ後の組立ては、逆の順序でおこなってください。
- ●羽根は変形させないよう十分気を付けてください。
- ●蝶ボルト、スピンナーは確実に取り付けてください。

お手入れのしかた

お願い　リモコンは電池交換やお手入れ時以外は、必ずホルダーに固定してご使用ください。
頻繁な脱着は損傷の原因となります。

受信部、発信部（月に1回程度）のお手入れは

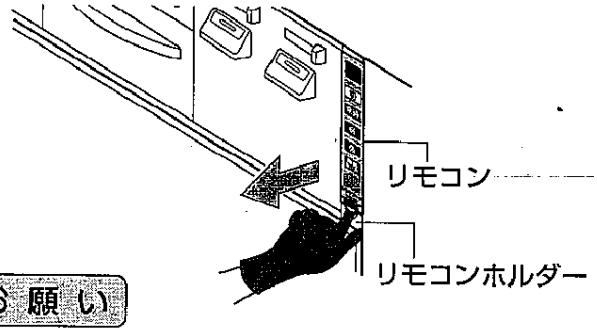
ぬるま湯でうすめた台所用中性洗剤を浸した布で油汚れをふき取ってください。
その後、洗剤が残らないように水を湿らせた布で洗剤をよくふき取ってください。
換気連動システムをご使用の場合は、調理機器の発信部の汚れをふき取ってください。



お願い
油汚れを放置すると、受信性能が低下します。

リモコンをはずすには

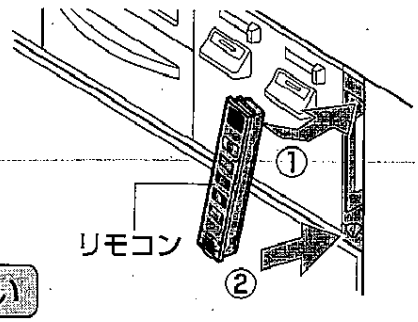
リモコンホルダーの下部の穴に指を入れて、取り出してください。



お願い
取りはずしの際、リモコンを落とさないように注意してください。

リモコンを入れるには

①リモコンをななめ上から差し入れ、
②持ち上げながら押し込んでください。

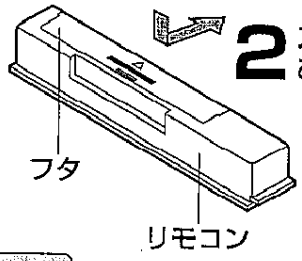


お願い
確実に入ったことを確認してください。

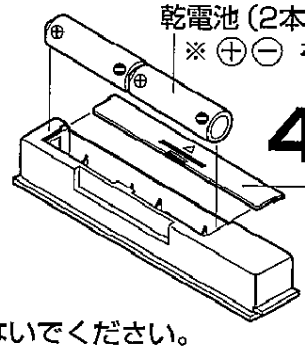
リモコン電池の交換は

動作不安定になる兆候が出てきた場合、すぐに乾電池を交換してください。
（乾電池の交換の目安はおよそ1年です。）

1 フタを押しながら
2 スライドさせてあける。



3 乾電池（単4　2本）を入れ、



4 「カチッ」と音がするまで、フタを入れる。

お願い
- ●乾電池の交換は、新旧・異種の乾電池を混用しないでください。
- ●長期間使用しない場合は、乾電池を取り出しておいてください。
  ※付属の電池は流通時、在庫時にも自然放電するため、1年未満であっても動作しない場合があります。ご了承ください。

9DCT14202 MDA-M1105-0

故障かな？ 修理を依頼される前に次の点をもう一度お調べください。

症　状	考えられる原因	処　置
●スイッチを入れても羽根、照明の電源が入らない。 ●羽根が回らない。	●分電盤のブレーカーが「切」になっている。 ●スイッチがロックされている。（ロック状態で本体操作スイッチに触れると「ピーピーピーピー」という音がします。）	●分電盤のブレーカーを「入」にする。 ●スイッチのロックを解除する。(P.7参照)
●切ボタンが点滅する。	●スイッチがロックされている。 ●スイッチ表面が汚れたり濡れている。 ●ボタンに約10秒以上触れていても表示します。	●スイッチのロックを解除する。(P.7参照) ●スイッチの表面を布などで掃除する。
●異常音がする。	●スピンナーのゆるみ ●オリフィス固定の蝶ボルトのゆるみ ●フィルターの汚れ ●給気が十分でない	●スピンナー、蝶ボルトを締め直す。(P.16参照) ●フィルターを掃除する。(P.15参照) ●十分な給気を確保する。
●吸い込みが悪い。	●フィルターが汚れている。 ●給気が十分でない。 ●エアコンや窓からの風があたっている。	●フィルターを掃除する。(P.15参照) ●十分な給気を確保する。 ●風があたらないようにする。
●リモコンスイッチを操作しても動作しない。	●電池が減っている。 ●電池の向きが間違っている。 ●リモコンの発信部や本体の受信部が油で汚れている。 ●スイッチがロックされている。（ロック状態で本体操作スイッチに触れると「ピーピーピーピー」という音がします。） ●何らかの原因でリモコン信号を正常に受信していない。	●電池を交換する。 ●電池を正しく入れる。(P.18参照) ●発信部・受信部を掃除する。(P.18参照) ●ロックを解除する。(P.7参照) ●リモコン信号を遮らないようにする。(P.8参照)
●調理機器側との連動機能が働かない。（ファン運転、照明運転）	●赤外線信号の送受信が妨げられている。	●信号を遮らないようにする。(P.8参照) ●発信部・受信部を掃除する。(P.18参照)
●調理機器側の操作でファンの運転が停止しない。	●常時換気モードに設定されている。	●設定を解除する。(P.9参照)
●調理機器と連動して照明が点灯しない。 ●調理機器と連動して照明が消灯しない。	●照明連動モードが解除されている。 ●手動で照明を操作した。（直前に手動で操作した場合、手動操作が優先されます。）	●再設定をする。(P.9参照) ●手動で照明を消灯する。(P.9参照)
●運転終了直後に風きり音がする。	●同時給排幕板または電動気密シャッターを使用している。	●故障ではありません。シャッターが閉まるときに空気の通路が狭くなるために起こる音です。
●給気電動シャッターが閉じるのが遅い。	———	●故障ではありません。シャッターからの風切音を低減させるためです。

処置した後に、なお異常がある場合は、ご使用を中止し、必ず分電盤のブレーカーを切り、お買い上げの販売店・工務店または保証とアフターサービス（P.20～22）に記載のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

保証とアフターサービス

1.保証書

23ページが保証書となっています。
保証書に記載されているように、一定期間、一定条件のもとに無料修理致します。
保証書をなくされますと無料修理期間であっても修理費をいただく場合がありますので、
大切に保管してください。

●保証期間は

お引き渡し日から本体1年間です。

※本製品は一般家庭用の製品です。使用頻度の高い業務用にご使用の場合は対象外となります。

2.修理を依頼されるとき

万一故障と思われることがありましたら、「故障かな？」(19ページ参照)に従ってご確認ください。
なお異常のあるときは、分電盤のブレーカーを切ってお買い上げの販売店・工事店またはお近くの「ナショナル パナソニック修理ご相談窓口」へお問い合わせください。保証規定に基づき対応させていただきます。
また、消耗品など部品のご注文、ご相談は、「ハイ・パーツショップ」へお問い合わせください。お買い上げの販売店・工事店へ修理のご依頼ができない場合には、「ナショナル パナソニック修理ご相談窓口」(22ページ参照)へご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容	
品　　名	センターフード
品　　番	
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印なども併せて お知らせください。
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

消耗部品	品番	標準価格(税込み)	必要枚数
フィルター	FRH1630087	2,600	2
オイルキャッチ	FRH0250021	2,200	1

※価格は変更になる場合があります。
※フィルターはアルミ製、オイルキャッチは鋼板製です。
廃棄方法は、各市町村の処理方法に従ってください。

●保証期間中は
保証書の規定に従って出張修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは
修理により「センターフード」の機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
(修理代金：部品代＋技術料＋出張料)

●補修用性能部品の保有期間
製造打ち切り後6年間です。(性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。)

⚠警告 ご自分で修理されることは絶対になさらないでください。

3.アフターサービスについてご不明な点は

お買い上げの販売店・工事店またはお客様ご相談窓口「ナショナル パナソニックお客様ご相談センター」(22ページ参照)へご連絡ください。

9DCT14202 MDA-M1105-0

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取扱い・工事などのご相談は、お買い求めの販売店・工事店または下記窓口へお申し付けください。

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）**0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。
- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

消耗品・交換部品・オプション部品のご購入　「ハイ・パーツショップ」

ナビダイヤル **0570-081-802**（ハイ パーツ）

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。
[受付時間：月～金9：00～19：00 土・日・祝9：00～17：00]
ただし、携帯電話・PHSなどは下記の電話番号へおかけください。

ホームページ　http://www.sumu2.com/shop/parts/

㊐東日本　ハイ・パーツショップ
TEL 03-5392-7189
〒174-0041　東京都板橋区舟渡1丁目12番1号
ペリオス12階
松下電工テクノサービス（株）東部支社

㊐西日本　ハイ・パーツショップ
TEL 06-6906-1224
〒571-8686　大阪府門真市門真1048
松下電工テクノサービス（株）近畿支社

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター
365日／受付9時～20時

電話　フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）　FAX　フリーダイヤル **0120-878-236**

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
Open 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

ご注意　所在地、電話番号、受付時間などが変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電工株式会社および松下グループ関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック

修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎(011)894-1251	帯広	帯広市西20条北2丁目23-3 ☎(0155)33-8477
旭川	旭川市2条通16丁目1166 ☎(0166)22-3011	函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） ☎(0138)48-6631

東北地区

青森	青森市大字浜田字豊田364 ☎(017)775-0326	宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎(022)387-1117
秋田	秋田市東通り2丁目1-7 ☎(050)5519-6348	山形	山形市平清水1丁目1-75 ☎(023)641-8100
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43 ☎(019)645-6130	福島	郡山市亀田1丁目51-15 ☎(024)991-9308

首都圏地区

栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19 ☎(028)689-2555	東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎(03)5477-9780
群馬	前橋市箱田町325-1 ☎(027)254-2075	山梨	甲府市宝1丁目4-13 ☎(055)222-5171
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3 ☎(029)864-8756	神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎(045)847-9720
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2 ☎(048)728-8960	新潟	新潟市東明1丁目8-14 ☎(025)286-0171
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5 ☎(043)208-6034		

中部地区

石川	金沢市横川3丁目20 ☎(076)280-6608	愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10 ☎(052)819-0225
富山	富山市根塚町1丁目1-4 ☎(076)424-2549	岐阜	岐阜市中鶉4丁目42 ☎(058)278-6720
福井	福井市問屋町2丁目14 ☎(0776)25-5001	高山	高山市花岡町3丁目82 ☎(0577)33-0613
長野	松本市寿北7丁目3-11 ☎(0263)86-9209	三重	久居市野村町字山神421 ☎(059)255-1380
静岡	静岡市駿河区有東2丁目3-22 ☎(054)287-9000		

近畿地区

滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48 ☎(077)582-5021	奈良	大和郡山市筒井町800番地 ☎(0743)59-2770
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4 ☎(075)672-9636	和歌山	和歌山市中島499-1 ☎(073)475-2984
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7 ☎(06)6359-6225	兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6 ☎(078)272-6645

中国地区

鳥取	鳥取市安長295-1 ☎(0857)26-9695	岡山	岡山市田中138-110 ☎(086)242-6236
米子	米子市米原4丁目2-33 ☎(0859)34-2129	広島	広島市西区南観音8丁目13-20 ☎(082)295-5011
松江	松江市平成町182番地14 ☎(0852)23-1128	山口	山口県吉敷郡小郡町下郷220-1 ☎(083)973-2720
出雲	出雲市渡橋町416 ☎(0853)21-3133		
浜田	浜田市下府町327-93 ☎(0855)22-6629		

四国地区

香川	高松市勅使町152-2 ☎(087)868-6388	高知	高知市仲田町2-16 ☎(088)834-3142
徳島	徳島市沖浜2丁目36 ☎(088)624-0253	愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1 ☎(089)905-7544

九州地区

福岡	春日市春日公園3丁目48 ☎(092)593-9036	熊本	熊本市健軍本町12-3 ☎(096)367-6067
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 ☎(0952)26-9151	天草	本渡市港町18-11 ☎(0969)22-3125
長崎	長崎市東町1949-1 ☎(095)830-1658	鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎(099)250-5657
大分	大分市萩原4丁目8-35 ☎(097)556-3815	大島	名瀬市長浜町10-1 ☎(0997)53-5101
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2 ☎(0985)63-1213		

沖縄地区

沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

1005

9DCT14202 MDA-M1105-0

保証書

センターフード

保 証 書

出張

品番	S95AHWZ37 / S95AHWZ38 / S95AHWZ39
製造番号	

保証期間	本体1ヶ年	お引き渡し	年　月　日
★お客様	ご住所	〒□□□-□□□□	
	お名前	様　TEL（　）	
★販売店	住所 店名	TEL（　）	㊞ またはサイン

★印欄に記入のない場合は有効とはなりませんから、必ず記入の有無をご確認ください。もし、記入がない場合には直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

〈無料修理規定〉

1.取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で1年以内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
（イ）無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
（ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの松下電工ご相談窓口にご連絡ください。
（ハ）この商品は、出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。

2.ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げ販売店またはお近くの松下電工ご相談窓口にご相談ください。

3.ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くの松下電工ご相談窓口へご連絡ください。

4.保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。

1) 取扱説明書、本体注意ラベルまたはその他の注意書きを守らずに発生した故障および損傷
2) 消耗部品（電球・フィルター・電池）の取り替えや修理・保守などの費用
3) 適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合
（例）・ファン、フィルターなどの汚れ　など
4) 経年変化または使用に伴う磨耗・サビ・かび・変質・変色・その他類似の事由による場合
5) キズなどの外観の不具合で、引き渡し時に申し出がなかったもの
6) 第三者による管理上、メンテナンス上などの不備に起因する不具合
（例）・ハウスクリーニング業者が指定の洗浄剤以外のクリーニング剤使用による変色や腐食など
7) 犬・猫・鳥・鼠などの小動物や虫などの行為に起因する不具合・故障および損傷
8) 一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障および損傷
9) 車両・船舶などに搭載された場合に生ずる故障および損傷
10) お買い上げ後の取り付け場所の移設・輸送・落下などによる故障および損傷
11) 使用上の故意・過失または不当な修理や改造による故障および損傷
12) 異常電圧や指定外の燃料・電源（電圧・周波数）の使用による故障および損傷
13) 火災・地震・水害・落雷・その他天災地変および公害・塩害・ガス害（硫化ガスなど）または戦争・暴動などの破損行為などによる故障および損傷
14) 施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する故障および損傷
15) 建築躯体の変形などの対象商品本体以外の不具合に起因する故障および損傷
16) 契約時、実用化されていた技術では予防することが不可能な現象またはこれが原因で生じた事故による場合
17) 保証期間経過後に申し出があったもの、または保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかったもの
18) 商品添付の保証書のご提示がない場合
19) 保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合（領収書などで左記内容がわかる場合はその限りではありません）、あるいは字句を書き替えられた場合
20) 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費

5.本書は日本国内においてのみ有効です。

6.本書は再発行しませんので大切に保管してください。

7.お客様ご相談窓口は、22ページをご参照ください。

※お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの松下電工ご相談窓口にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」(20ページ)をご覧ください。

※This warranty is valid only in Japan.

松下電工株式会社
製造元　松下エコシステムズ株式会社
〒486-8522　愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番　TEL(0568)81-1511

修理記録	年　月　日	修　理　内　容	担当者

仕様

定格	品番	風量調節	消費電力 (W)	換気風量 (m^3/h)		騒音 (dB)	質量 (kg)
				0Pa時	100Pa時		
交流100V 50/60Hz	S95AHWZ37	強	82/95	612/600	479/486	45.5/45	29
	S95AHWZ38	弱	57/61	432/408	—	38/36.5	30
	S95AHWZ39	常時	8.5/10.5	126/132	—	18/18.5	31

●LED照明の消費電力　約7W
●このセンターフードは、ご使用にならないときでも約0.5Wの電力を消費しています。
●センターフードに使用している部品は、性能向上などのために予告なしに一部変更することがあります。

松下電工株式会社
システムキッチン事業部
〒571-8686　大阪府門真市門真1048

© 2005 Matsushita Electric Works, Ltd.（松下電工株式会社） All Rights Reserved.

9DCT14202 MDA-M1105-0